

承德医学院の張 東旭副学長らの視察団が、千葉大学を訪れました。千葉大学医学部のみのはな同窓会長であり、元千葉大学医学部附属病院長を歴任した伊藤 晴夫名誉教授の招待に応えたものです。平成 24 年 11 月 11 日から 16 日まで、張 東旭副学長をリーダーにした承德医学院の 3 人の教授による千葉大学と株式会社ウエッジへの訪問が行われました。

11 日午前中、千葉大学医学部薬学府大学院 副学長瀧口 正樹教授が面談し、千葉大学医学研究院の概要と沿革が紹介されました。張 東旭副学長からは、承德医学院の紹介、およびそれと併せて、両大学の共同研究と交流を今後も深化させるべく、下記の要望が提示されました。

- 1 . 既存の交流や共同研究を継続発展させる。
- 2 . 千葉大学医学部および医学研究院と連携して、大学院生及び大学の教官の育成を強化する。
- 3 . 千葉大学の教官を承德医学院へ定期的に派遣してもらい、学生を対象にした講演や授業を行う。

瀧口 正樹副学長は、張 東旭副学長の提案に賛同の意を表しました。視察団は、会議終了後千葉大学医学研究院で研鑽している中国留学生との懇談会を行いました。懇談会のあと、留学生らが、それぞれが在籍している教室を案内しました。

千葉大学での視察を終えた張 東旭副学長グループは、静岡県富士市にある株式会社ウエッジの視察へ向かいました。ウエッジ社は、水の品質を改良するセラミクスを開発した企業のひとつで、そのセラミクスを始めとして、様々な健康食品を開発しつつあります。

11 月 15 日、伊藤 晴夫のみのはな同窓会長と副会長の鈴木 信夫名誉教授らは張 東旭副学長グループと面談し、今後の両校の交流支援について話合いました。その中で、張 東旭副学長から、千葉大学が可能な限り早く承德医学院からの教師受け入を医学研究院がするよう要望が出されました。

張 東旭副学長グループの千葉大学訪問は、両校の理解を深めると共に日中の友好を一層強くしました。将来的に向かって両校が、共同研究や人材の育成を積極的に促進することが祈念されます。(承德医学院発行 2012 年 11 月 26 日付「承德医学院報」掲載記事の要約)